

〈研究ノート〉

中国語教育において、予め整理しておくべきこと —アスペクト表現を中心として—

秋 山 淳

要旨

アスペクト表現は、中国語教学上において、困難を極めるものの一つであると考えられる。本稿は、中国語のアスペクト表現、中でも“了”を伴う文が一体何を表現しているものなのかについて、先行研究を再整理し、中国語教育における補助的な役割を目指すものである。

1. はじめに

アスペクト表現、中でも“了”は中国語の教学において、難しい文法事項の一つといえる：¹⁾

- (1) 我买书了。「私は本を買った」
- (2) 病好了。「病気がよくなった」
- (3) 我买了一本书。「私は本を一冊(/一冊の本を)買った」

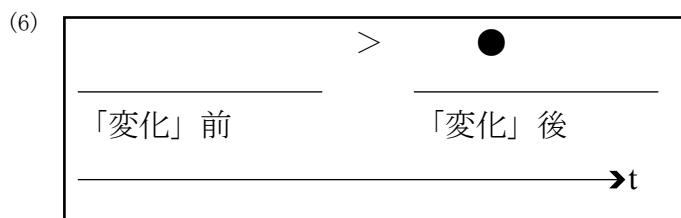
(1)と(2)の“了”は「変化」を表す語気助詞である(以下“了2”とする)(ただし(1)文はむしろ完了と考えた方が妥当であると思われるが、そのことは後ほど論じることとする)。(3)は動詞+“了”+数量目的語の形式であり、動詞の後の“了”は動作の完了を表すアスペクト助詞である(以下“了1”とする)。この(1)~(3)の表現について再整理し、中国語教育における補助的な役割を目指すものである。

2. “V/A了2”

“了2”を用いる形式には①“V/A了2”と②“VO了2”の二種類がある。ここでは①“V/A了2”のタイプから見ていくことにする。²⁾

- (4) 昨天很热, 今天凉快了。「昨日は暑かったが、今日は涼しくなった」
- (5) 以前有, 现在没有了。「以前はあったが、今はなくなった」

上記の例は、先行研究で「変化」として扱われているものであり(木村2006, 三宅2010), (4)は“凉快”「涼しい」(形容詞)+“了2”, (5)は“没有”(状態動詞“有”の否定形式)+“了2”の形式をとっており, (6)のような概念を記号化したものであると考えることができる(木村1997:):



> : 状態移動の瞬間 ; ● : ある種の現象 ; t : 時間の経過

(6)のような概念を持つ動詞には“死”「死ぬ」，“塌”「(建物など立体的なものが崩れる)」，“垮”「崩れる」，“炸”「(急激に)割れる」，“断”「切れる」，“熄”「(火が)消える」，“倒”「倒れる」，“摔”「転ぶ，壊れる」などがある。4)

(7) 他父亲死了。「彼の父親は亡くなった」⁵⁾

(8) 房子塌了。「家が倒れた」

(9) 吴，楚两国是带头叛乱的，两国一败，其余五个国家也很快地垮了。「吴，楚两国は率先して反乱を起こし，いずれも大敗し，残りの五国もすぐに倒れた」

(10) 这瓶子一灌开水就炸了。「この瓶は熱湯を入れた途端に割れてしまった」

(11) 绳子断了。「ひもが切れた」

(12) 火势已熄了。「火が消えた」

(13) 他病倒了。「彼は病気で倒れた」

(14) 中国体操女队又摔了!「中国女子体操チームはまた転んだ」

また，(6)のような概念を持つ形容詞には“熟”「(植物の実が)熟する」，“老”「老けている」，“高”「(高さが)高い」，“坏”「悪い」，“旧”「古い」，“胖”「(人が)太っている」，“瘦”「やせている」，“冷”「寒い」，“热”「(液体・気体・固体が)熱い」などがある。

(15) a. *园子里的苹果生了。「??庭園のリンゴは熟さなくなった」⁶⁾

b. 园子里的苹果熟了。「庭園のリンゴは熟した」

(16) a. *赵明小了。「*趙明は年齢が小さくなった」

b. 赵明老了。「趙明は老けた」

(17) a. *他孙子的个子矮了。「彼の孫の背丈は低くなった」

b. 他孙子的个子高了。「彼の孫の背丈は高くなった」

石毓智(2010)によれば，形容詞+“了²⁾”は実現プロセスを持たねばならないという。たとえば，(15)では，“苹果”「リンゴ」は“生”「熟していない」から“熟”「熟する」に変化することはあるので，(15b)は適格であるが，“熟”から“生”の変化は生じないために，(15a)は非文になる。(16)では“赵明(人名)”は“小”「(年齢が)幼い」から“老”「老けている」状態に変化することは自然なことなので，(16b)は適格であるが，“老”から“小”に変化することはありえないので，(16a)は非文になる。(17)では人間の背丈は“矮”「背が低い」の状態から“高”「背が高い」状態へ自然に変化するので，(17b)は適格であるが，“高”の状態から“矮”の状態に変化することはないので，(17a)は非文である。つまり“生→熟”，“小→老”，“矮→高”の変化のみ適格であると判断され，“熟→生”，“老→小”，“高→矮”の変化は生じないので，不適格であると判断されるのである。

次に，双方向の変化が適格であると判断される形容詞についても見ておこう：⁷⁾

(18) 吴楚看看，老阿姨真的胖了。「呉楚ちょっと見て。おばさんは本当に太ったわよ」

(19) 出差一趟返回广州，他精神也疲惫了，人也瘦了。「出張して広州に戻ると，彼はくたくたに疲れ，やせた」

(20) 天冷了。街两旁的法国梧桐叶子差不多全掉光了。「寒くなった。通りの両側のフラン

スアオギリの葉は殆ど全て落ちてしまった」

(21) 尽管只是初夏，天气已经很热了。「初夏にすぎないけれども，気候は既にとても暑くなった」

石毓智(2010)で指摘されているように，人は太ったり，やせたりするものであるために，(18)，(19)は適格であり，気候も暑くなったり，寒くなったりするので，(20)，(21)も適格である。つまり人の“胖←→瘦”，気候の“冷←→热”の双方向の変化は自然に生じるものであるので，適格であると判断される。

また，動詞や形容詞以外に，“名詞(N)+了”の形式も存在する：

(22) 春天了。「春になった」

(23) 不知不觉十二点了。「いつの間にか12時になった」

(22)の“春天”も，(23)の“十二点”も，(6)に示されたイメージのように，前段階から変化したものであると考えられる。

ここで，注意しなければならないことは，“了”自身が変化の意味を決めるアスペクト標識ではないということである。“V/A+了”にせよ，“N+了”にせよ，“了”の前のV，A，Nが(6)のイメージを持ったものでなければならないということからわかるように，“了”はV，A，Nの変化を具現化する標識にすぎないということである。⁸⁾

3. “V了O”

2で述べた②“VO了”を考察する前に，まず“V了O”から考察することにする：

(24) 我喝了两杯茶。「私はお茶を二杯飲んだ」

(25) 昨天看了一部电影。「昨日映画を1本見た」

“V了O”は限界性のある動作が何らかの限界性を示す要素を持ったものを伴い，参照時に既に実現済みであることを表す。⁹⁾

(26) 我姐姐昨天生了一个男孩儿。「姉は昨日男の子を出産した」¹⁰⁾

(27) 我休息了两天。「私は二日間休んだ」¹¹⁾

(24)の“喝了”“飲んだ”には“两杯茶”“二杯のお茶”，(25)の“看了”には“一部电影”“1本の映画”という「限界性」を示す目的語を伴っている。(24)は発話時以前に，“お茶を二杯飲む”ということが実現済みであり，(25)は“昨日映画を見た”ということが実現済みである。(27)は“两天”“二日間”という「限界性」を示す要素を伴って，発話時以前に“二日間休む”ことが実現済みである。

また，目的語に限界性を示す要素がなければ，もう一つ別な出来事を加える表現もある：¹²⁾

(28) 我吃了饭就要走。(未来)「私は食事をしてから行くつもりだ」

(29) 昨天晚上我们看了电影，就回来了。(過去)「昨晚映画を見たら，すぐ帰った」

(30) 他每天都是匆匆忙忙地吃了早饭，就去上班。(習慣)「彼は毎日あわただしく朝ご飯を食べると，出勤する」

上例では“吃了”や“看了”の後の目的語に限界性を示す要素が付いていないので，もう一文(出来事)を後続させて，限界性を示すことで，文を成立させている。そう考えるなら

ば、後続文も限界性を示す要素になっていると考えることができる。

4. “VO了”

新谷他編2008『おしゃべりな中国語』という中国語テキストのp.53に“VO了”の説明がある。まず、そこに出てくる例文を通して考えてみることにしよう。

(31) 我吃了饭了。「私はご飯を食べた/食事は済んだ」

(32) 我吃饭了。「私はご飯を食べた/私はご飯を食べ始めた」¹³⁾

テキストの説明では、「ご飯を食べた」という意味を表現する場合に，“我吃了饭”では文が言いきりにならないために、文末に“了²⁾”を伴って、(31)のような文にしなければならぬか、(32)のように、文末の“了”だけで済ませるということである。教科書では説明されていないが、(32)は「私はご飯を食べ始めた」という「新事態の発生」即ち、「変化」を表す用法もあり、「私はご飯を食べた」という完了の用法と二つの用法を兼ねているということである。¹⁴⁾もちろん、三宅(2010)が指摘しているように「動作の完了」という概念自体も「動作が完了していない状態」から「動作が完了してしまった状態」への「事態の変化」に他ならないと考えれば、一応の説明はつくと指摘している。それを基に、三宅(2010)は“VO了”と“V了O”の伝える「動作の完了」の、意味、用法などの違いについて、わかりやすく説明している。ここでは、意味上の違いの方に注目して紹介したい。¹⁵⁾

(33) a. 他买了辆自行车。

b. 他买自行车了。

(34) a. 他去了趟北京。

b. 他去北京了。

(35) a. 外面下了场雨。

b. 外面下雨了。

(36) a. 等了一个小时，雨不停，只好冒着雨回了家。

b. 他回家了。

(37) a. 上午有一个同学给我打了个电话。

b. 谢谢。对了，我问你，你替我给安田打电话了吗？

(33a)は「自転車を買った」ことが発話時以前に実現済みであることを述べている。(33b)は彼が「現在自転車を所有している」ことに着眼点がある。(34a)は彼が「現在北京にいる」可能性も「いない」可能性も両方ある。(34b)は彼が「現在北京にいること」が含意される。(35a)は「現在雨が止んでいる」ことを表す。(35b)は「現在雨が降っている」状況である。(36a)の“回了家”は「濡れて帰ったことが話の焦点」になっている。(36b)は「彼が今ここにいない」ことが話の焦点になっている。(37a)の“打了个电话”は「電話をかけた」ことを過去の出来事として述べている。(37b)は「現在安田さんに連絡がいつているかどうか」が話の焦点になっている。以上の考察から、三宅(2010)では“V了O”と“VO了”の表す意味の違いについて次のようにまとめている：

(38) “了²⁾”は、発生した事態が現在まで引き続き影響を与えているという共通の特徴を

文の意味に与えるマーカーである。16)

(39) “了” は出来事の完了をあくまでも発話以前の出来事としてとらえて述べるものである。

(39)は3で考察したように、他の先行研究でも指摘されている。

5. おわりに

中国語教学上、教師も学習者も共に悩まされるのが、“了”の表現である。本稿では、先行研究を通して、①“V/A了”，②“VO了”，③“V了O”について、整理を試みた。

①では、形容詞、動詞自体が変化を表すものであり、かつ、現実世界で実勢に生じる変化のみが①“V/A了”に用いられる((15)~(17))。

③では、限界性のある動作が何らかの限界性を示す要素を持ったものを伴い、参照時に既に実現済みであることを表す。一般的には、数量目的語などが限界性を示す要素になっている((24)~(27))。目的語に限界性を示す数量などが伴わない場合には、後続文が限界性を示す要素になっている((28)~(30))。

②では、“VO了”も“V了O”と同じく「完了」を表すことができるが、“V了O”が発話以前にすでに実現済みであることを表す((33a)(34a)(35a)(36a)(37a))のに対し、“VO了”は発生事態が現在にも影響を及ぼしていることを示しているという違いがある((33b)(34b)(35b)(36b)(37b)) (三宅2010 : 51)

(32)で示されたように、動詞が動作行為を表す場合、「完了」と「変化」の二つの解釈が可能なものがある。どちらの解釈をするのかは、他の要素やコンテキスト等で判断される：

(40) 小孩都上学了。17)

<注>

- 1) (1)~(3)は竹島金吾監修・尹景春・竹島毅著2012『<最新2訂版>中国語ははじめの一步』白水社、竹島金吾監修・尹景春・竹島毅著2002『中国語さらなる一步』白水社、アスペクト表現はこの他に、①他拿着一张票。「彼はチケットを一枚/一枚のチケットを握っている」、②我在看书。「彼は本を読んでいる/勉強している」、③我在看书呢。「彼は本を読んでいる/勉強している」など、V+“着”，“在”+Vなどの形式もある。
- 2) 竹島金吾監修・尹景春・竹島毅著2002『中国語さらなる一步』白水社より引用したものである。
- 3) 原文は中国語であり、発表者が翻訳したものである。
- 4) 石毓智2010, p.230を参照。
- 5) (7), (8), (10)~(13)は依藤醇他編2003『中日辞典第2版』より引用。(9), (14)は北京大学中国語学研究中心, CCL語料庫より引用。
- 6) (15)~(17)は石毓智2010, p.232より引用。
- 7) 北京大学漢語語言学研究中心の語料庫(CCL)からの用例。
- 8) 井上・生越・木村(2002)を参照。

- 9) 木村(2006 : 56)を参照。
- 10) 三宅(2010 : 53)からの用例。
- 11) 竹島金吾監修・尹景春・竹島毅著2002『中国語さらなる一步』白水社より引用。
- 12) 屈承熹(2010 : 126)からの用例。
- 13) 三宅(2010), p47を参照。
- 14) 杨凯荣(2001), p.81を参照。
- 15) 三宅(2010), pp.50-55を参照。
- 16) 同様の指摘は杨凯荣(2001)にもある。
- 17) 屈承熹(2010 : 137)からの用例。

参考文献

- 刘月华・潘文娱・故华2010『实用现代汉语语法』商务印书馆
 屈承熹2010『漢語功能篇章語法』文鶴出版有限公司
 石毓智2010『汉语语法』商务印书馆
 井上優・生越直樹・木村英樹(2002)「テンス・アスペクトの比較対照—日本語・朝鮮語・中国語—」生越直樹編『シリーズ言語科学4 対照言語学』125—東京大学出版学会
 木村英樹(1997)「‘变化’和‘动作’」『橋本萬太郎記念中国語学論集』内山書店
 木村英樹(2006)「「持續」・「完了」の視点を越えて—北京官話における「実存相」の提案—」『日本語文法』6(2) : 45-61. 日本語文法学会
 三宅登之(2010)「“了1”と“了2”の相違点とその認知的解釈」『中国語教育』第8号 : 64—86. 中国語教育学会
 Chu,Chuansey C.(1976)“Some semantic aspects of action verbs.”Lingua,40.43-54